

# 事例検討

## ～参考手順～

毎号、ひだまりに掲載している「60分でできる実践活動検討」を行う際の参考手順です（創刊時に掲載したものを一部再編）。地区民児協で事例検討など、委員同士の意見交換を行う際は、これを参考に皆さんがやりやすい方法で行ってください。

### 手順 1

#### 進行役を決める

誰を選ぶか、どのように選ぶかは自由です。毎回、進行役を代えてみましょう。

### 手順 2

#### 全体の説明と班分け

進行役は、どのような流れ（時間配分も）で行うのか全員に説明します。説明後、下記①～④を留意の上、班分けをします。

- ① 班分けは、1班3～6人を目安にする
- ② 班同士は、できるだけ離れて着座する
- ③ 班の構成は、役員・中堅・新任委員が偏らないように、バランスをとる
- ④ 毎回、班のメンバーを代える

### 手順 3

#### 各班で検討する

班別に、下記①～③の順で検討します。

- ① 班内の進行役や発表者を決める
- ② 事例を読みこむ
- ③ 設問について話し合う。この時、お互いの担当地区での体験談も話し合う

### 手順 4

#### 検討結果を発表する

全体で、各班の検討した結果を発表しましょう。

#### 時間配分の目安

(手順1・2) 10分、(手順3・4) 40～50分

※時間配分は、目安です。臨機応変に設定しましょう。

## 検討の心得

効果的な話し合いをするうえで、下記の点にご留意ください。また、事例検討には“正解”はありません。委員一人ひとりの経験をもとに、前向きに話し合ってみてください。

- **自由奔放** 意見には制約を設けず、自由に発言してください
- **多数歓迎** 意見やアイデアは多いほど歓迎です
- **便乗発展** 他の方の意見に便乗し、話を発展させます
- **批判厳禁** 他の方の意見を批判せず、前向きに話し合います
- **視点多用** 要支援者だけでなく、様々な登場人物の立場で事例を検討します